

(仮称)北校と(仮称)南部コラボセンターの基本設計に関する説明会・質疑応答(概要)

○日時:平成31年(2019年)3月26日(火)18:30~20:30

○場所:庄内公民館 3階 集会室

質問・意見等	豊中市からの回答
<p>南部地域活性化構想の柱と目標に具体性がない。学校跡地の検討については、体育館以上の避難所を他に探しているということか。地域の避難訓練をすると、学校の体育館でも入りきらない。</p>	<p>南部地域活性化構想は総論を示しており、具体的な事業はこれから打ち出していくこととなります。学校跡地については、現在、方向性を検討する段階であり、具体については、今年の夏から秋ごろにご説明したいと考えています。</p>
<p>今、庄内介護予防センターにあるお風呂は、なぜ(仮称)南部コラボセンターに作らないのか。お風呂をなくして、囲碁やカラオケを楽しむ場所をなくしてどうするのか。</p>	<p>介護予防センター(原田・柴原・庄内・千里)における入浴事業については、全市的に平成31年度(2019年度)で終了することとなっているため、平成34年(2022年)完成予定の(仮称)南部コラボセンターについても入浴施設は設けないこととしています。庄内介護予防センターで現在行っている囲碁やカラオケなどのグループ活動については、(仮称)南部コラボセンターに入る介護予防センターで継続予定です。</p>
<p>学校跡地がマンションになるという話を聞いたが本当か。</p>	<p>審議会の議論の中で、他市事例の1つとして学校跡地をマンションにしているという話が出たことがありますが、市として跡地をマンションにすると決めているわけではありません。</p>
<p>施設の外観がとてもきれいで良い。全ての学校がこんなのであれば良いのにどううやましく思う。何点か質問がある。 ①校舎の北側にグラウンドがあるが、日あたりは悪くないのか。 ②菜園スペースが小さいように感じる。 ③図工室の隣に音楽室があるが防音は大丈夫か。 ④オープンスペースは子どものたまり場になることが予想されるが、生徒指導が大変ではないか。</p>	<p>①校舎部分については、一定日陰ができますが、放課後子どもクラブは1階建ての平屋であり、その部分は日陰はあまりできないと想定しています。 ②菜園スペースの詳細については今後検討します。 ③音楽室は防音仕様にするとしています。 ④オープンスペースは多様な学びのために設けています。ご懸念いただいているようなことがないように検討していきます。</p>
<p>(仮称)南部コラボセンターに福祉事務所も移管されるのか。</p>	<p>現在、福祉事務所の南部支所が労働会館にありますが、(仮称)南部コラボセンターには移設せず、その他の場所に移設する予定です。</p>
<p>(仮称)南部コラボセンターは駅から遠いが、施設の利用率はどのように計算しているのか。</p>	<p>現在、利用率の目標値は定めていません。(仮称)南部コラボセンターに集約される施設の現在の利用者数の合計は約2,200人/日であり、それ以上をめざしたいと考えています。</p>

質問・意見等	豊中市からの回答
<p>4-3-2 制が 6-3 制よりも良い根拠は何か。6-3 制なら 6 年生がリーダーであるがそれがなくなってしまう。4 年生がリーダーは早いし、中 3 は受験があるのでリーダーにはなれないだろう。</p>	<p>(仮称)庄内さくら学園は 9 年制の学校であり、一般的には中だるみが起きることが指摘されています。それを防ぐことや、6-3 制よりも柔軟な学年段階として 4 年-3 年-2 年と区切りをつけて、段階ごとにつけたい力などを明確にして指導することを考えています。</p>
<p>私立の中学に進学する子どももいるが、そのようなことは想定しているのか。</p>	<p>私学への進学や転出入も想定しています。1~6 年生は前期課程として小学校の学習指導要領を、7~9 年生は後期課程として中学校の学習指導要領を準用することになります。</p>
<p>現在よりも距離が遠くなる高齢者が(仮称)南部コラボセンターに通うための方策はあるのか。</p>	<p>現在、具体的に答えられるものはありませんが、公共交通改善計画において、市の東西を結ぶ交通を強化するための取組みを平成 32 年度(2020 年度)から進めることとしています。</p>
<p>(仮称)南部コラボセンターの貸室は 4 階だけか。他にも借りられる部屋はあるのか。</p>	<p>貸室は主に 4 階になります。施設の部屋は施設ごとのルールによって運用されますが、柔軟に相互利用できる工夫をしたいと考えています。</p>
<p>南部地域活性化構想の柱の 1 つ目が「子どもたちの元気があふれるまちづくり」となっているが、この計画では反対のことが起こると思う。子どもたちの競争が激しくなり、荒れ果てるのではないか。子どもも社会的存在であり、小学校でやっと集団的活動ができるようになり、中学校で社会と個人が見られるようになる。学力だけを見て、個人だけを見るというのは間違っていると思う。</p>	<p>この計画は競争をあおるものではありません。基礎学力を大事にしたいと考え、現在、庄内地域の教職員が集まり、教育内容について議論を進めています。また、子ども個人とともに、人との関わりも含めて考えています。子どもたちは学校だけでなく、家庭や地域とともに育まれますので、ご協力をお願いいたします。</p>
<p>大アリーナの広さはどれくらいか。また、部活動の試合の際に子どもや保護者がたまるような場所や観客席はあるのか。</p>	<p>広さは通常の中学校の体育館よりも広がっています。バスケットコートが 2 面とれ、正式なバスケットコートは 1 面とれます。通常よりも広いので、子どもたちがたまる場所はある程度あるのではないかと考えています。また、上から見られるような観客席は設けないこととしていますので、平場から見ていただくことになります。</p>
<p>小学校では催し物がとても多い。小学校がなくなると地域での集まりの場所がなくなる。今、どれくらいの催し物があり、それらの活動は今後どうなるのか。</p>	<p>小学校区単位での催事は、文化祭、体育祭、夏まつりなどが大きなものであります。また、日常的には体育施設の開放や少年野球、少年サッカーなどがあります。学校開放は教育活動に支障がない範囲で行っているものですが、(仮称)庄内さくら学園では小アリーナの地域開放を想定しており、運動場は中学生の部活動があるので、その使用状況と調整することになります。また、跡地の利活用については、今後検討を行います。</p>